

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 アクモス株式会社

コード番号 6888 URL <http://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営情報管理部長

(氏名) 中川 智章

TEL 03-5217-3121

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	644	△31.9	△91	—	△88	—	△89	—
23年6月期第1四半期	946	△5.5	61	—	64	—	44	—

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 △92百万円 (—%) 23年6月期第1四半期 40百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	△917.87	—
23年6月期第1四半期	456.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	2,126	1,494	66.0
23年6月期	2,351	1,615	64.7

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,403百万円 23年6月期 1,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	300.00	300.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	0.00	—	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,680	6.4	40	95.8	45	86.3	25	—	257.75
通期	3,400	2.4	100	△17.4	100	△20.2	80	88.5	824.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年6月期1Q	102,154 株	23年6月期	102,154 株
24年6月期1Q	5,159 株	23年6月期	5,159 株
24年6月期1Q	96,995 株	23年6月期1Q	96,995 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日、以下「当四半期」という)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けた生産供給網が概ね復旧し、心配された夏場の電力不足も大口需要者による操業日の調整などの節電対策により大きな影響が出ることなく、震災直後の状況からは一定の回復を見ることができました。一方で、ギリシャに端を発した世界的な金融不安による景気減速や、高水準の円高が続いており、国内景気にも不透明な状態が増してきております。

当社グループの主要事業である情報技術事業においては、企業の設備投資に回復傾向が見られるものの、IT投資の案件については、案件数、受注金額の回復の遅れが続いております。前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日、以下「前四半期」という)では官公庁のシステムリプレース案件があり業績に貢献いたしました。当四半期には同様の案件が見込めなかったことから営業に注力いたしました。新規取引先獲得の一方で、主要なお客様において、電力系システム分野での案件数減少や、IT投資計画の見直しが実施されたこと、お客様先に常駐している当社の技術者に対しても夏季の節電対策シフトが適用されたことから十分な売上高の獲得が困難となり、売上高は644百万円となり前四半期の売上高946百万円から302百万円減少いたしました。営業利益、経常利益については同様の理由のほか、利益率の低い案件の受注が多くなったことや、アクモス株式会社において独自ブランド製品開発にかかる研究開発費を12百万円計上していることなどにより、当四半期は営業損失91百万円(前四半期は営業利益61百万円、前四半期比153百万円減少)、経常損失88百万円(前四半期は経常利益64百万円、前四半期比153百万円減少)となっております。前四半期では13百万円の特別損失の発生がありましたが、当四半期では特別損失は0.4百万円に留まりました。これらの結果、四半期純損失89百万円(前四半期は四半期純利益44百万円、前四半期比133百万円減少)となっております。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(ITソリューション事業)

アクモス株式会社において、前四半期に官公庁のシステムリプレース案件による売上301百万円があったため、この売上がなくなった当四半期においては売上高が減少いたしました。また、新規にCTI(注)等を活用した自社ブランド製品を開発するための研究開発を実施しており、販管費に研究開発費を12百万円計上しております。ACMOSソーシングサービス株式会社は、新規取引先の獲得もあり、ほぼ予定通りの業績となっております。これらの結果、ITソリューション事業の売上高は566百万円(前四半期は売上高837百万円、前四半期比32.4%減)、営業損失72百万円(前四半期は営業利益79百万円)となりました。

(注)CTI(Computer Telephony Integration System):電話とコンピュータの統合システム

(ITサービス事業)

株式会社エクスカル(IT製品のテスト事業)では、受注高の減少が続いておりますが、前連結会計年度に実施した事業再構築による固定費の削減効果が現れており、前四半期に比べ営業損益が4百万円改善してきております。

株式会社ジイズスタッフ(情報処理サービス事業)においては、前四半期に売上のあった利益率の高い案件の影響がなくなり、売上高、営業利益ともに減少いたしました。当四半期では予定を上回る業績となっております。なお、前連結会計年度に本社移転を行なったことによる固定費の削減効果があり、販管費が3百万円減少しております。

ITサービス事業全体では、売上高97百万円(前四半期は、売上高113百万円、前四半期比13.6%

減)、営業利益 4 百万円(前四半期は、営業利益 6 百万円、前四半期比33.8%減)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末に比べ225百万円減少し、2,126百万円となりました。現金及び預金が185百万円、受取手形及び売掛金が64百万円減少したことが主な要因であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、632百万円となりました。未払費用が105百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ121百万円減少し、1,494百万円となりました。配当金の支払29百万円及び四半期純損失89百万円の計上が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月2日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,217,855	1,032,481
受取手形及び売掛金	451,793	387,327
仕掛品	42,096	84,399
原材料及び貯蔵品	189	172
前払費用	14,663	18,348
短期貸付金	5,494	5,535
未収入金	19,444	1,011
繰延税金資産	7,552	6,693
その他	4,015	12,888
貸倒引当金	△4,390	△2,235
流動資産合計	1,758,715	1,546,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	259,364	259,364
減価償却累計額	△131,059	△133,389
建物及び構築物（純額）	128,305	125,975
工具、器具及び備品	108,118	108,530
減価償却累計額	△81,665	△83,646
工具、器具及び備品（純額）	26,452	24,883
土地	68,836	68,836
有形固定資産合計	223,594	219,694
無形固定資産		
のれん	268,342	254,401
ソフトウェア	7,080	6,213
ソフトウェア仮勘定	9,276	18,158
電話加入権	1,481	1,481
無形固定資産合計	286,181	280,255
投資その他の資産		
投資有価証券	16,668	14,811
敷金及び保証金	41,211	41,221
長期貸付金	25,277	23,878
その他	71	71
貸倒引当金	△30	△26
投資その他の資産合計	83,198	79,956
固定資産合計	592,974	579,906
資産合計	2,351,690	2,126,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,539	65,527
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	71,470	63,130
預り金	10,977	13,061
未払金	84,536	80,372
未払費用	208,549	103,453
未払法人税等	14,533	3,947
賞与引当金	16,100	67,121
前受金	46,424	39,652
その他	21	18
流動負債合計	548,151	456,284
固定負債		
長期借入金	163,750	152,500
長期前受金	16,800	16,712
その他	7,067	6,600
固定負債合計	187,617	175,812
負債合計	735,768	632,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,176,282	1,176,282
利益剰余金	△295,392	△413,520
自己株式	△53,911	△53,911
株主資本合計	1,520,228	1,402,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,449	1,155
その他の包括利益累計額合計	2,449	1,155
少数株主持分	93,244	91,174
純資産合計	1,615,921	1,494,430
負債純資産合計	2,351,690	2,126,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	946,598	644,333
売上原価	635,756	482,232
売上総利益	310,842	162,100
販売費及び一般管理費	249,223	253,898
営業利益又は営業損失(△)	61,619	△91,797
営業外収益		
受取利息及び配当金	504	343
保険配当金	2,758	2,893
その他	1,698	1,593
営業外収益合計	4,962	4,831
営業外費用		
支払利息	1,626	1,378
その他	7	4
営業外費用合計	1,634	1,382
経常利益又は経常損失(△)	64,947	△88,348
特別損失		
固定資産除却損	—	102
投資有価証券評価損	5,980	—
特別退職金	3,230	—
契約解除損失	3,360	300
その他	650	—
特別損失合計	13,221	402
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,726	△88,751
法人税、住民税及び事業税	5,036	627
法人税等調整額	6,687	1,719
法人税等合計	11,723	2,346
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	40,002	△91,098
少数株主利益	△4,304	△2,069
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,306	△89,028

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	40,002	△91,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	593	△1,293
その他の包括利益合計	593	△1,293
四半期包括利益	40,595	△92,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,899	△90,322
少数株主に係る四半期包括利益	△4,304	△2,069

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	I Tソリューション事業	I Tサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	833,192	113,406	946,598	—	946,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,683	—	4,683	△4,683	—
計	837,875	113,406	951,281	△4,683	946,598
セグメント利益	79,388	6,541	85,930	△24,311	61,619

(注) セグメント利益の調整額△24,311千円には、のれん償却額△13,941千円、報告セグメントに配分していない全社費用△10,328千円、その他の調整額△41千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	I Tソリューション事業	I Tサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	546,357	97,976	644,333	—	644,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,050	—	20,050	△20,050	—
計	566,407	97,976	664,383	△20,050	644,333
セグメント利益	△72,098	4,328	△67,770	△24,027	△91,797

(注) セグメント利益の調整額△24,027千円には、のれん償却額△13,941千円、報告セグメントに配分していない全社費用△10,622千円、その他の調整額536千円を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。